適格旧Tier２資本調達手段の額のうちTier２資本に係る基礎項目の額に含まれる額				
一般貸倒引当金Tier２算入額及び適格引当金Tier２算入額の合計額				
うち、一般貸倒引当金Tier２算入額				
うち、適格引当金Tier２算入額				
公的機関による資本の増強に関する措置に係る経過措置によりTier２資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額				
評価・換算差額等に係る経過措置によりTier２資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額				
Tier２資本に係る基礎項目の額　（チ）				
Tier２資本に係る調整項目				
自己保有Tier２資本調達手段の額				
意図的に保有している他の金融機関等のTier２資本調達手段の額				
少数出資金融機関等のTier２資本調達手段の額				
その他金融機関等のTier２資本調達手段の額				
調整項目に係る経過措置によりTier２資本に係る調整項目の額に算入されるものの額				
Tier２資本に係る調整項目の額　（リ）				
Tier２資本				
Tier２資本の額　（（チ）－（リ））　（ヌ）				
総自己資本				
総自己資本合計　（（ト）＋（ヌ））　（ル）				
リスク・アセット等				
信用リスク・アセットの額の合計額				
資産（オン・バランス）項目				
調整項目に係る経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額				
オフ・バランス取引等項目				
ＣＶＡリスク相当額を８％で除して得た額				
中央清算機関関連エクスポージャーに係る信用リスク・アセットの額				
マーケット・リスク相当額を８％で除して得た額				
オペレーショナル・リスク相当額を８％で除して得た額				
信用リスク・アセット調整額				
オペレーショナル・リスク相当額調整額				
リスク・アセット等の額の合計額　（ヲ）				
自己資本比率				
普通出資等Tier１比率　（（ハ）／（ヲ））	%		%	
Tier１比率　（（ト）／（ヲ））	%		%	
総自己資本比率　（（ル）／（ヲ））	%		%	
調整項目に係る参考事項				
少数出資金融機関等の対象資本調達手段に係る調整項目不算入額				
その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通出資に係る調整項目不算入額				
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。）に係る調整項目不算入額				
繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に係る調整項目不算入額				
Tier２資本に係る基礎項目の額に算入される引当金に関する事項				
一般貸倒引当金の額				
一般貸倒引当金に係るTier２資本算入上限額				
内部格付手法を採用した場合において、適格引当金の合計額から事業法人等向けエクスポージャー及びリテール向けエクスポージャーの期待損失額の合計額を控除した額（当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。）				
適格引当金に係るTier２資本算入上限額				
資本調達手段に係る経過措置に関する事項				
適格旧Tier１資本調達手段に係る算入上限額				
適格旧Tier１資本調達手段の額から適格旧Tier１資本調達手段に係る算入上限額を控除した額（当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。）				
適格旧Tier２資本調達手段に係る算入上限額				
適格旧Tier２資本調達手段の額から適格旧Tier２資本調達手段に係る算入上限額を控除した額（当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。）				

（記載上の注意）

１　「単体自己資本比率」とは、農林中央金庫法第85条第２項に規定する区分等を定める命令第１条第３項に規定する単体自己資本比率をいう。

２　「信用リスク・アセット算出手法」欄は、標準的手法、基礎的内部格付手法又は先進的内部格付手法のいずれかを記載すること。

３　「その他Tier１資本調達手段に係る会員勘定の額」として資本金及び資本剰余金以外の科目に計上される金額がある場合、その内訳を欄外に記載すること。

４　「Tier２資本調達手段に係る会員勘定の額」として資本金及び資本剰余金以外の科目に計上される金額がある場合、その内訳を欄外に記載すること。

５　単体自己資本比率の算定に関する外部監査を受けている場合には、その旨を欄外に記載すること。

６　遡及適用（財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則第８条第51項に規定する遡及適用をいう。）、財務諸表の組替え（同条第52項に規定する財務諸表の組替えをいう。）又は修正再表示（同条第53項に規定する修正再表示をいう。）により、「前期末」欄の金額又は比率が前事業年度に係る報告時の金額又は比率と異なっているときは、その旨を欄外に記載すること。